

## 令和5年度 第1回印西市入札等監視委員会会議要旨

- 1 開催日時 令和5年7月18日（火）  
午前10時から午前11時30分まで
- 2 開催場所 市役所 会議棟202会議室
- 3 出席者 廣田 直行 委員、小野寺 浩一 委員、藤本 麻里子 委員
- 4 事務局 平川財政課長、草間係長、笛田主査、松井主査補、小島主査補
- 5 議 題 1. 議事  
2. その他

### 議事 (1) 入札・契約制度の改正概要について

議長 これより、令和5年度第1回印西市入札等監視委員会をはじめます。  
初めに、議事の(1)入札・契約制度の改正概要について、事務局より説明をお願いします。

【事務局より、入札・契約制度の改正概要を説明】

【委員了解】

### 議事 (2) 令和4年度下半期の入札手続き状況について

議長 次に、議事の(2)令和4年度下半期の入札手続きの状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局より、令和4年度入札状況（下半期）の概要を説明】

【委員了解】

議長 それでは、事前に選定いただきました案件の審議に入ります。

《 (仮称) 新高花学校給食センター建設工事 》

事務局 こちらにつきましては、1者入札かつ高落札率であること、複数者の入札がなかった理由についてご質問いただいております。  
担当課に確認しましたところ、予定価格の基となる設計については、積算基準又は見積もり等により行っており、できる限り直近の単価等を採用しているとのことですが、令和4年度は、ロシアのウクライナ侵攻などにより、原油・資材価格等の高騰が続き、その影響を受け、落札率が高くなったのではとのことであり、また、1者入札については、発注時期

が年度後半となり、各業者の手持ち工事の関係で参加業者が少なかったのではとのことをごさいます。

しかしながら、入札参加申込みが1者であり、他の業者の事情は不明でありますので、今回の状況はあくまで入札の結果であると評価しているところをごさいます。

委員

新しく3000食を供給できる施設を急いで整備しないといけないという事情は理解しますが、予定価格からすると、総合評価方式で発注すべきではと考えます。

また、結果として1者入札となってしまったことについては、発注時期の選択等について、あまりよろしくなかったのではと思います。

工事の内容として、今回、建築に加えて、別に調達した調理機器の据え付けを行うものですが、そういう工事が通常のものなのでしょうか。

事務局

中央学校給食センターの整備の際は、建築工事、機械工事、電気工事、調理機器の購入を分割して発注し、調理機器の設置については、電気及び機械工事で行っていました。今回は、スケジュールの都合により、調理機器の購入と工事1件で発注し、機器の設置は工事の中で行うこととなっております。

また、総合評価方式で行わなかった件ですが、事務局としては、担当課に対して、総合評価方式で行うことについて検討するようお伝えしましたが、結果としてスケジュールの都合で、総合評価方式ではなく、制限付き一般競争入札で行うとの方針になったものです。

議長

高い落札率については、ウクライナ問題を挙げられていましたが、これが理由に出るのが私は疑問に感じます。高い落札率は予定価格の事前公表が原因ではないかと考えます。

もう一点、給食センターの機器は、一般的に、特定メーカー以外が入りにくい状況が多く見受けられるので、今回はどのようになっているか、整理いただくといいと思います。

また、総合評価方式で行わなかったことが奇異に感じます。大規模な団地等の開発行為でもない限り、急な変化で準備できないこともないと思います。時間がないので総合評価方式をしないということを正当化されるのはいかがかと思ひます。強く改善を求めたいと思ひます。

事務局

児童生徒数の増加については、推計を短期間で何度もやり直すような状況もあるようです。

議長

人口推計に大きく乖離がでるといふことは、データで確認ができると思ひますので、確認されるといいと思ひます。

#### 【委員了解】

《 道路改良工事（R4-4）市道00-008号線 》

事務局

こちらにつきましては、総合評価の内容を確認したいとのご質問をいただいております。

評価項目・評価基準に基づき評価した技術評価点と入札額から算出する価格評価点を合算した評価点が、低入札の失格基準額を上回るものの中で、最も高かった者を落札者としたものでございます。

委員 金額的には総合評価方式に該当するのですが、技術的には高いものは求められない工事のような気がします。

4者から参加申請がありましたが、2者辞退となり、残りの2者からの比較になったことが残念に思います。

もっと多くの業者が参加してくれたらよかったのにと思います。

事務局 総合評価方式は事前に申請した技術者を配置する必要がありますが、通常の制限付き一般競争入札に比べ入札手続きの期間が長くなり、その間に、申請した技術者を、他市町村も含めた他の工事に配置せざるを得ない状況となり、入札を辞退することもあるのではと、考えています。

委員 この道路は隣の広場の工事と同時に完成する予定とされているのですか。

事務局 この道路は11月までの工期で、広場は少し早く終わる予定となっています。

議長 価格評価点の計算式を教えてください。

事務局  $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$  としています。

議長 技術評価点の差を逆転するには、価格評価点はどのくらいの差が必要か、チェックいただければありがたいです。

委員 技術評価点がどのようになっているかは、どのタイミングでわかるのですか。

事務局 昨年度までは、入札が終わった段階で結果をホームページに掲載するものをもって知ることができるものでしたが、今年度からは、参加申請者自身の技術評価点は、応札前に各者に通知するように改めたものです。

委員 他者がどのくらいの点かは事前に把握できるものでしょうか。

事務局 市から各者には、参加申請者自身の評価点のみをお伝えしているのですが、他者の評価点を知ることにはできません。ただし、定量的な評価項目については、公表されている情報を元に試算することは可能であると考えます。

#### 【委員了解】

《 令和4年度FWD調査業務委託（その2） 》

事務局 こちらの案件に関しましては、落札率が低いことについてご質問がありました。

担当課に確認しましたところ、このFWD調査は、FWD測定車という特殊な機材を用いて行われるもので、積算では、この測定車はレンタルする想定で、必要な費用を計上しておりますが、自前でこの機材を所有している業者が安くなる傾向にあるようだとのことでした。なお、今回の落札者もこの機材を自前で所有しているとのことでした。また、自前で所有している業者は県内では2者程度しかいないようでございます。

議長 今回の入札では、機材を持っている企業は指名されているのでしょうか。  
事務局 今回は機材を持っているのは1者のみとなっているとのことです。  
議長 予定価格の設定は、機材をレンタルする想定で行っているとのことですが、それは仕方ないものなのでしょうか。  
事務局 設計については県の基準に基づいて行っており、機材を所有していない業者でも対応可能となる設計が必要であるというのが担当課の考えであるとのことです。  
議長 税金の使い方として、安く業務ができる方がいい面も一方ではありますので、今後も、慎重にご検討ください。

【委員了解】

事務局 << 草深の森樹木伐採及び倒木搬出業務委託 >>  
こちらについては、落札率が80%でくじ引きとなることについてご質問がありました。  
昨年度までは予定価格500万円以上の草刈りや公園管理等の業務委託につきましては、最低制限価格を付し、制限付き一般競争入札を行うこととしております。  
これら業務委託の最低制限価格の算出方法は予定価格の80%としており、予定価格を事前公表していることから、多くの者が最低制限価格での応札となり、くじ抽選での落札候補者決定となっているものでございます。  
今年度からは、先ほどの制度改正での説明のとおり、500万円以上、1,000万円未満の予定価格については、試行的に最低制限価格を設定しないよう制度改正をしたところであり、今年度の入札結果では平均すると約55%程度の落札率となっている状況でございます。  
今後は、品質の劣化等に注視しつつ、今後の制度を検討することとしております。  
議長 多くの者が最低制限価格と同額で入札している状況をみると、その額でも業務が可能と判断する者が多いと思えます。予定価格は適正な設定でしょうか  
事務局 この業務では、伐採は県の積算基準を準用し、倒木撤去については見積りに基づき設計しているとのことです。  
議長 令和5年度から最低制限価格に関して試行を行うとのことですが、予定価格が適正なものであったかについても、ぜひ検証していただきたいと思えます。

【委員了解】

事務局 << 令和4年度災害用マンホールトイレ資機材購入 >>  
こちらの案件につきましては、1者入札及び高落札率となっていることについてご質問がありました。

担当課によりますと、マンホールトイレ自体が阪神淡路大震災を契機に開発されたものであり、まだ整備量も多くなく、特殊なものであるとのことで、地域要件を設定せず、見込み対象者を350者として入札を実施したのですが、取扱業者自体が少なく結果として、1者入札になってしまったのではないかとのことです。

また、設計額については、入札に先立ち、製品の流通価格を委託により調査しており、その価格を基に予定価格を決定しているため、調査の価格が実際の価格と同程度となり落札率が高くなったのではないかとのことです。

なお、この案件は後ほどご説明しますが、1度入札を実施し、応札者がなく、入札不調となり、再度の入札となったものでございます。

委員 適合する製品として複数社から出ているのでしょうか。特定の製品に限定されてしまうのでしょうか。

事務局 マンホールトイレは複数社から出ているということは担当課から聞いておりますが、互換性があるかは把握しておりません。

委員 このような製品は全国でニーズがあるでしょうから、製品はたくさんあるのではないかと考えています。

複数社入札に参加できるようご検討いただくとありがたいと考えます。

#### 【委員了解】

#### 《 牧の原小学校（2期）増築校舍賃貸借 》

事務局 こちらの案件につきましては、落札率がやや低いが、予定価格の積算との差異要因は何かとのご質問がありました。

担当課によりますと、今回の校舍はリースとなりますが、自前で工事する際との工程の違いが影響したのではないかとのことです。今回はリースであり、設計・工事を受注者が行うため、閲覧時には多くの質問がありました。そのため、複数者が興味を示していることが分かり、どの者も受注後に自分の得意な仕様を提案できることから各者の意欲を掻き立てられ、競争性が働いたのではないかとのことです。

委員 今回はリースとのことで、据え付け、撤去の費用は誰持ちなのでしょう。

事務局 据え付け・撤去については、後々のリース料の支払いに含まれるものとなります。

リースを選択したのは、児童数の推計が増加の後、減少になるとのことで、このピーク時の不足時に使用し、その後、返却することを想定したことからですが、児童数の増減が見込みと違った場合、リース期間を延ばすことも考えられるとのことです。

議長 イニシャルコストとトータルコストをどう考えるかについては、非常に難しい問題だと思います。

リースではなく、本施設として整備を行うこととするが、後々には老

人福祉施設に転用できるような想定で設計するようなことも考えられます。

リースは撤去を想定したものであるのがミソであると思います。

今回は、特記仕様書は定めていますか。

事務局 建物の部材等定めています。詳細設計は今回業務の中で行うこととしていまして、詳細設計で決定されるような細かい仕様は定めていない状況です。

議長 総合管理計画で公共施設を増やさないという方針であると思いますので、今後、このような発注が増えるかもしれませんが、発注方法については慎重に選択しなければいけない難しい問題だと思います。

#### 【委員了解】

#### 《 取り抜け方式の一括説明 》

事務局 こちらの案件につきましては、落札率、くじ、無効の関係、また、「競争」を取り入れる試みはとのご質問をいただいております。

取り抜け方式により無効が増加すること、最低制限価格と同額での応札が多数行われ、くじにより落札者を決定していることはご説明したとおりとなります。

また、「競争」に関しては、先ほどの No. 291 草深の森樹木伐採でご説明したとおり、まずは比較的少ない額で最低制限価格を設定しないで入札を行い、例えば、すべての案件を圧倒的に低い金額で同一業者が落札したにも関わらず、手が回らないため品質が大幅に落ちることなどが起こらないかなどを注視し、問題が無い場合、最低制限価格を設定しない案件を増やしていきたいと考えているものでございます。

委員 「競争」を取り入れる試みについて質問したのですが、新しい取り組みを行うとのことで、今後が楽しみです。

事務局 今回の試行については、まず1000万円未満で行うこととしており、ここでご説明した公園管理等の業務については2000万円以上となるため、来年度からすぐに新たな取り組みで行うものにはなっておりませんが、今後の状況を見て、金額を広げた時に対象となる可能性のものと考えます。

制度を一気に変えて、品質が落ちるようなことは避けたいと考えております。

議長 今回ご説明いただいた取り抜け方式ですが、指名競争入札で行うことはいかがでしょうか。

事務局 公園管理等は、昔、指名競争入札で行っていましたが、その後、制限付き一般競争入札に切り替えた過去があります。

議長 いろいろな方法を検討する余地があるのではとの考えからですので、ぜひご検討ください。

委員 道路等補修工事の内容について教えてください。

事務局 道路の部分的な補修業務であり、道路に穴が開いていたり、亀裂ができている部分を放置すると車に損傷を与えてしまうものを未然に防ぐよう補修をする業務であります。

巡回については、業務の中で業者が巡回することとなっていますが、別途市の職員が巡回して発見した穴を塞ぐものも、今回の業務として行われるものです。

委員 契約概要の舗装面積は上限であり、これ以上は補修しないということでしょうか。

事務局 この面積は発注時点の補修面積であり、これ以上の補修が必要となった場合は、契約変更等を行い、適正に補修するものと思います。

委員 これらの業務も、最低制限価格と同額での入札が多数行われるということは、予定価格が適正であったのかを検証する必要があるのではと考えます。

いずれにしても、今回新たな取り組みとして行われるものについて、どのような結果になるのかを期待したいと思います。

【委員了解】

《 選定案件② 入札不調・不落・中止に関する一括説明 》

議長 ただ今の案件につきまして、ご意見よろしいですか。

無いようですので、本日の議事はすべて終了しました。

【委員了解】

令和5年7月18日に行われた印西市入札等監視委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 小野寺 浩一